



十六銀行

十六アジアレポート 2020年12月号

JUROKU ASIA REPORT DECEMBER 2020

2020年12月1日 発行

十六銀行 法人営業部 海外サポート室

目次

1. タイ:「タイ王国が抱える『格差』と『貧困』」

バンコク駐在員事務所 堀江幸康

2. 為替相場情報

本書中の情報は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては全てお客様御自身でご判断くださいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行及び執筆者はその正確性を保証するものではありません。また、本書中の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

1. タイ:「タイ王国が抱える『格差』と『貧困』」

コロナ禍にある「クロントイ・スラム」の現状を見て

バンコク駐在員事務所 堀江幸康

先日、音楽関係の友人からのご縁で、「クロントイ・スラム」に暮らす人々への食糧支援活動と、布マスク配布活動のお手伝いをさせて頂きました。



「クロントイ・スラム」での食糧支援の様子。
向かって一番左が、バイオリニストのトン氏。

食糧支援活動は、クロントイ・スラム内で音楽活動を続けている「イマニュエル・オーケストラ（ミュージック・フォー・ライフ財団）」の指揮者・指導者であるワリン・アートウィライ氏（ニックネーム：トン氏）の呼び掛けに応える形で実現したものです。トン氏はクロントイ・スラム生まれの音楽家で、幼い頃にイマニュエル・ルーテル教会の女性伝道師の方から無償でバイオリンを習ったことをきっかけに音楽の道を志し、タイ国立マヒドン大学の音楽科を卒業後、バイオリニストとして活躍している人物です。以前は同大学のオーケストラに

所属していましたが、その伝道師の方から後進の指導にあたって欲しいと請われたことから、同大学のオーケストラを離れ、クロントイ・スラムの子どもや若者たちの音楽指導にあっています。

布マスクは、クロントイ・スラム内で教育支援などを行っているシーカー・アジア財団が運営するマスク工房で生産されたものです。こちらのマスク工房では3月からマスク生産を手掛け、現在1日あたり約350枚を生産しています。スラム街に暮らす人々の多くは、建設、港湾荷受、清掃などの仕事に従事していますが、新型コロナウイルスの感染拡大や非常事態宣言の発令、都市封鎖（ロックダウン）の影響を受けて、かなりの方が職を失いました。苦しい状況が続く中、同財団では、布マスクの生産・販売を通じて、同地域での雇用の創出と感染拡大の予防につなげたいとしています。5月には、本活動に賛同したタイ国日本人会が布マスク5,200枚（約15万パーツ分）を購入し、日本人会会員に配布しています。

炊き出しや保存食・布マスクの配布を通して、スラム街の現状とそこに暮らす人々の苦しい生活を初めて垣間見ることができました。

そこで今回は、タイ王国が抱える「格差」と「貧困」について、お伝えしたいと思います。

■タイ王国におけるスラム街形成の歴史とその変遷

クロントイ・スラムは、かつてバンコクの玄関港と呼ばれた「クロントイ港」の周辺に形成されたバンコク都内最大のスラムで、8~10万人が暮らしていると言われています。日本人駐在員やその家族の多くが暮らしているスクンビット地区からは僅か3キロほどの距離にありますが、近代的な高層ビルが並ぶスクンビット地区とは対照的に、背の低いバラックが立ち並んでおり、人々は劣悪な環境の中で、格差と貧困に苦しみながら暮らしています。衛生状態もとても良いとは言えず、もしスラム街で新型コロナウイルスの感染が拡大した場合には、大きな被害が出ることも懸念されています。

タイ王国において工業化が本格化し始めた 1960 年代頃に、地方の農村部から都市へと仕事を求めてやってきた労働者たちがスラム街を形成し始めたと言われていています。現在もバンコク市内にはこの「クロントイ・スラム」をはじめとしたスラム街が約 2,000 箇所存在しており、バンコクの人口の約 20%にあたる 150 万人以上が生活しています。農村出身の土地を持たない貧しい人々にとって、スラム街は生きていくために必要な場所であり、タイ王国発展の歴史の中で都市へ安価な労働力を提供し、その経済成長を支える存在ともなっていたと考えられています。また現在では、隣接するカンボジア、ミャンマー、ラオス、マレーシアからの出稼ぎ労働者も増えてきており、その多くがスラム街で集団生活を強いられているとも言われています。



「クロントイ・スラム」の様子。
バラック群の奥には、高層ビル群が見える。

■「世界で最も格差の大きい国の一つ」とされるタイ王国

新型コロナウイルスの感染拡大により、タイ国内では都市封鎖（ロックダウン）が実施されました。飲食店や商業施設などは一時的に閉鎖・休業を命じられ、そこで働いていた人々は自宅での待機を余儀なくされました。ただ、帰る家のある人はまだ幸運だったのかもしれませんが。建設現場や工事現場などでも作業の中断や中止が命じられ、出稼ぎ労働者らは職を失うとともに、宿舍を追い出されてしまいました。彼らは地元に戻ることも許されず、路上での生活を余儀なくされたのです。スクンビット地区にあるベンチャシリ公園などでは、こうした路上生活者を支援するために NPO 団体による炊き出しが実施されていました。

華やかで煌びやかに見える東南アジアの中心国タイ王国ですが、富める者と貧しい者との格差は非常に大きく、コロナ禍の影響によりその差はますます広がっていくように感じています。

スイスの証券会社 Credit Suisse の調査資料「Global wealth report 2019」によれば、タイ国内の富や財産を 100 とした場合、その半分以上（50.4）をタイの富裕層上位 1%が独占しています。タイの総人口が約 7,000 万人ですから、たった 70 万人の富裕層がタイ国内の富や財産の半分を保有していることになります。対照的に、富や財産を持たない人や、借金などによりそれがマイナスとなっている人は、2,500 万人に達すると言われていています。同調査は主要 40 ヶ国を対象としたものですが、富や財産の分配がここまで偏っている国はほとんどなく、不名誉にもタイ王国は「世界で最も格差の大きい国の一つ」と言われ続けています。

富裕層最上位1%の「富と財産」の占有率						
（※国内の「富と財産」を100とした場合）						
	2017年	順位	2018年	順位	2019年	順位
タイ	56.2	①	66.9	①	50.4	②
ロシア	56.0	②	57.1	②	58.2	①
インドネシア	45.4	④	46.6	⑤	44.6	③
アメリカ	38.3	⑪	35.3	⑫	35.4	⑩
シンガポール	34.0	⑬	33.2	⑬	31.9	⑭
中国	47.0	③	32.6	⑮	30.3	⑰
日本	14.6	⑳	18.6	㉑	17.9	㉒

※Credit Suisseの調査資料「Global wealth report 2019」を基に
十六銀行バンコク駐在員事務所が作成

幸いにして、現時点においては、タイ国内において大規模な市中感染は発生しておらず、新型コロナウイルスの感染拡大を抑え込むことには概ね成功しているように見えます。しかしながら、経済の停滞は避けられず、格差と貧困に喘ぐ人々を更に苦しめることになってしまうのではないかと心配しています。一刻も早い経済の回復を強く願うとともに、私自身も地道な支援活動を続けていきたいと思っています。

2. 為替相場情報

(1) 人民元一円為替相場(中国人民銀行公表仲値)

(単位:1人民元当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
10月26日	15.70105	10月27日	15.65607	10月28日	15.55766	10月29日	15.51422	10月30日	15.55984
11月2日	15.60403	11月3日	15.65043	11月4日	15.67595	11月5日	15.60598	11月6日	15.64749
11月9日	15.61670	11月10日	15.96806	11月11日	15.92940	11月12日	15.91571	11月13日	15.85565
11月16日	15.84686	11月17日	15.89572	11月18日	15.88916	11月19日	15.85615	11月20日	15.78482



上記表、及びグラフはこの公表仲値を便宜的に1人民元当たりの日本円へ換算し直した相場です。
そのため、正式な人民元相場が必要な場合は、中国人民銀行にお問い合わせ下さい。

(2) ドルー円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

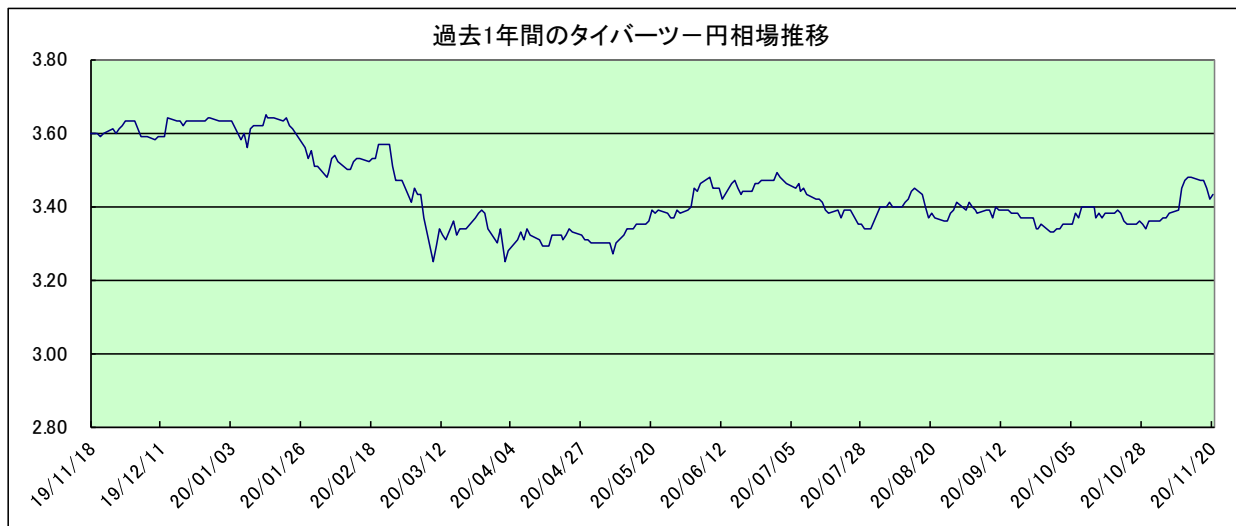
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
10月26日	104.70	10月27日	104.81	10月28日	104.45	10月29日	104.40	10月30日	104.60
11月2日	104.76	11月3日	-	11月4日	104.55	11月5日	104.29	11月6日	103.70
11月9日	103.35	11月10日	105.21	11月11日	105.15	11月12日	105.42	11月13日	104.99
11月16日	104.69	11月17日	104.48	11月18日	104.09	11月19日	103.87	11月20日	103.88



(3) タイバーツ-円為替相場(当行公表仲値)

(単位: 1バーツ当たりの日本円)

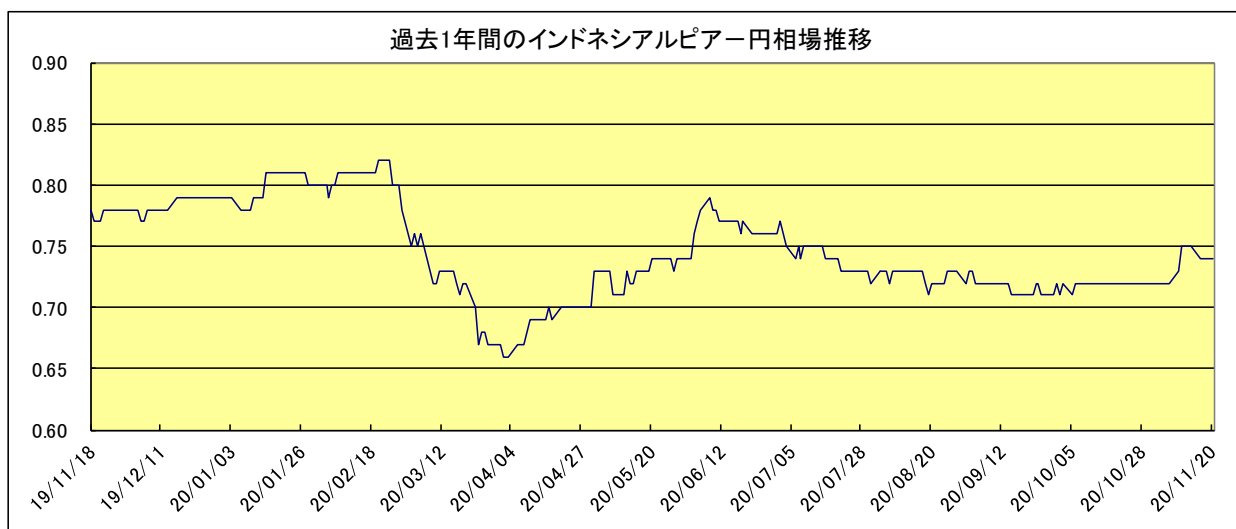
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
10月26日	3.3500	10月27日	3.3600	10月28日	3.3500	10月29日	3.3400	10月30日	3.3600
11月2日	3.3600	11月3日	-	11月4日	3.3700	11月5日	3.3700	11月6日	3.3800
11月9日	3.3900	11月10日	3.4500	11月11日	3.4700	11月12日	3.4800	11月13日	3.4800
11月16日	3.4700	11月17日	3.4700	11月18日	3.4500	11月19日	3.4200	11月20日	3.4300



(4) インドネシアルピア-円為替相場(参考値)

(単位: 100ルピア当たりの日本円)

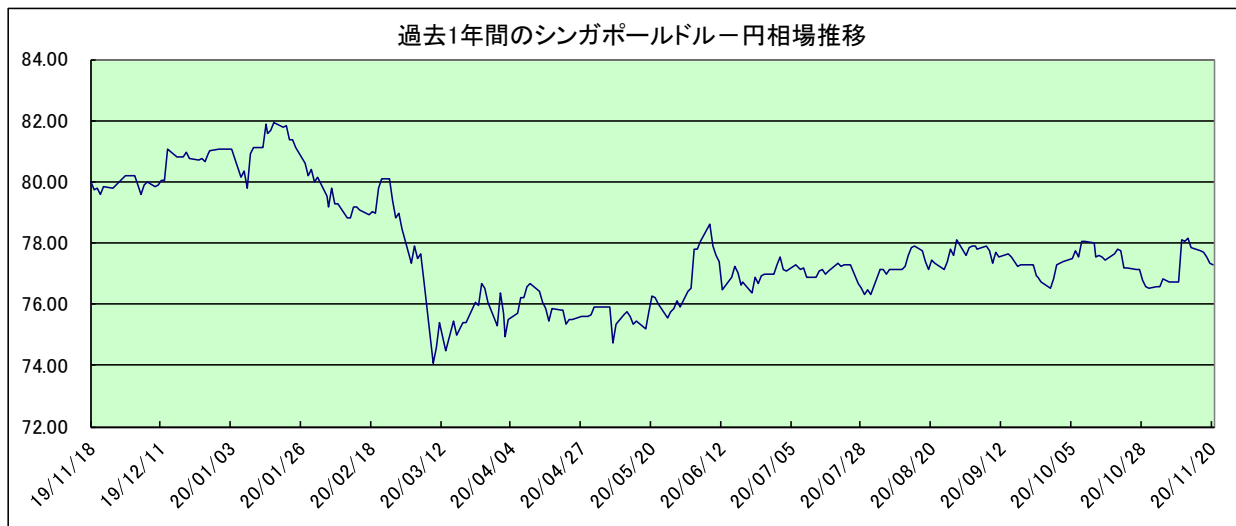
(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
10月26日	0.7200	10月27日	0.7200	10月28日	0.7200	10月29日	0.7200	10月30日	0.7200
11月2日	0.7200	11月3日	-	11月4日	0.7200	11月5日	0.7200	11月6日	0.7200
11月9日	0.7300	11月10日	0.7500	11月11日	0.7500	11月12日	0.7500	11月13日	0.7500
11月16日	0.7400	11月17日	0.7400	11月18日	0.7400	11月19日	0.7400	11月20日	0.7400



(5) シンガポールドル-円為替相場(当行公表仲値)

(単位:1ドル当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
10月26日	77.1400	10月27日	77.1100	10月28日	76.7700	10月29日	76.5500	10月30日	76.5300
11月2日	76.5500	11月3日	-	11月4日	76.8400	11月5日	76.7900	11月6日	76.7200
11月9日	76.7300	11月10日	78.1100	11月11日	78.0400	11月12日	78.1500	11月13日	77.8600
11月16日	77.7700	11月17日	77.7000	11月18日	77.5200	11月19日	77.3400	11月20日	77.2600



(6) ベトナムドン-円為替相場(参考値)

(単位:1000ドン当たりの日本円)

(月)		(火)		(水)		(木)		(金)	
10月26日	4.5100	10月27日	4.5200	10月28日	4.5000	10月29日	4.5000	10月30日	4.5100
11月2日	4.5100	11月3日	-	11月4日	4.5100	11月5日	4.5000	11月6日	4.4700
11月9日	4.4600	11月10日	4.5400	11月11日	4.5300	11月12日	4.5500	11月13日	4.5300
11月16日	4.5100	11月17日	4.5100	11月18日	4.4900	11月19日	4.4800	11月20日	4.4800

